

ビジネスを通じて“偉大な作品”を創る

リネットジャパングループ株式会社 2021年9月期 第1四半期 決算概要



ビジネスを通じて“偉大な作品”を創る。

リネットジャパングループが目指すのは、「収益」と「社会性」の両立

本業のビジネスの中に社会課題解決モデルを組み込み
我々の事業成長が社会への貢献につながることを目指します

そんな、後世にも語り継がれる「偉大な作品」創りを経営理念として掲げています

TOPICS

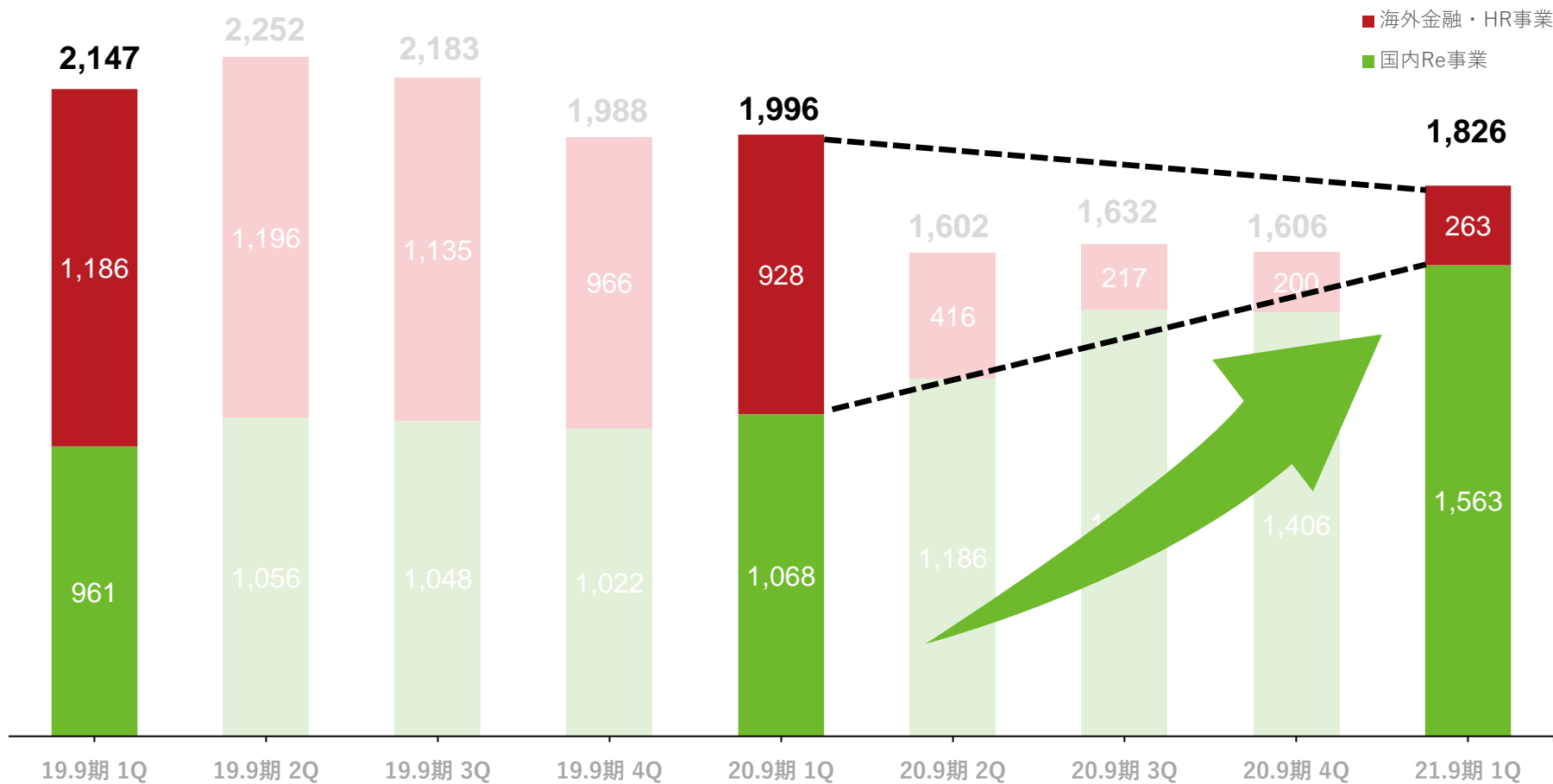
- ◆ 国内の業況
リユース・リサイクルが非常に好調
連結営業利益で**四半期中で過去最高益**
- ◆ 海外の業況
カンボジアの債権回収は順調に進捗。概ね**今期中に処理完了を目指す**
- ◆ 今期計画
上期：コロナ禍の状況を見極めながら「守り」対応
下期：「巣ごもり」を契機とした需要拡大を捉えた「攻め」
→ 第1Q好調も反映、下期から**積極的なマーケティング**を展開
- ◆ 事業セグメントの変更
経営理念の実現に向け、**リユース＋リサイクル＋障がい福祉**の
3つのビジネスが連携したビジネスモデルを立ち上げ。それに伴い、事業セグメントを変更

国内Re事業
リユース、リサイクル、ソーシャルケア
海外金融・HR事業
マイクロファイナンス、車両販売、リース、外国人HR
- ◆ **ソラミツ社とのJV設立協議**については進展中

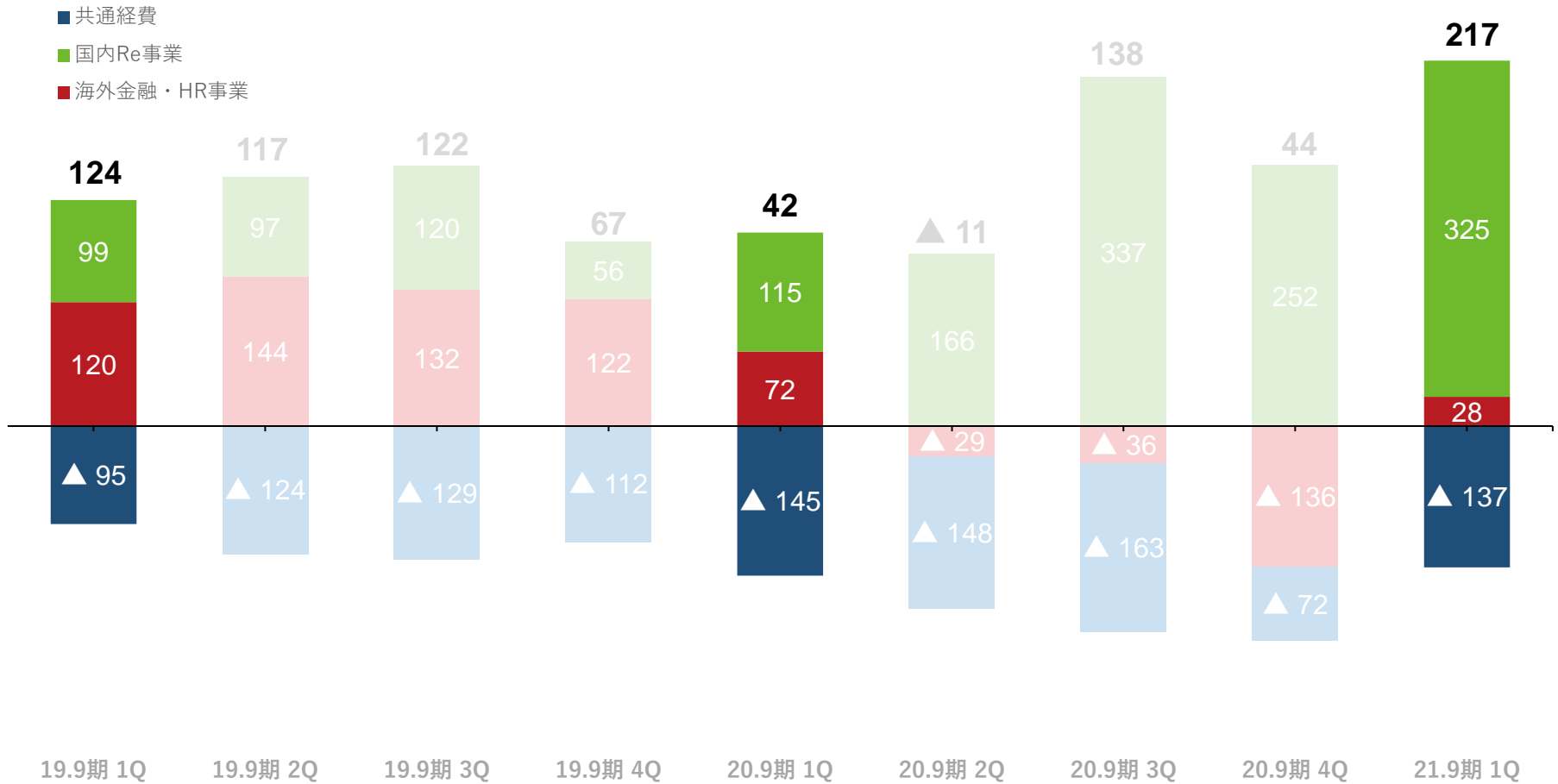
国内及びマイクロファイナンスが好調を維持
 車両販売とリースの新規営業凍結の中、
 売上は前期水準を維持、営業利益は大幅増（対前年同期比+410.6%）

(百万円)	20年9月期 第1四半期累計	21年9月期 第1四半期累計	対前年同期差	対前年同期比
売上高	1,995	1,825	▲ 170	▲ 8.5%
売上総利益	1,009	1,348	339	+33.6%
販売費及び 一般管理費	966	1,131	164	+17.0%
営業利益	42	216	174	+410.6%
経常利益	130	149	19	+14.8%
税金等調整前 当期純利益	116	82	▲ 34	▲ 29.5%
法人税等	36	67	31	+88.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	80	14	▲ 66	▲ 82.3%

事業ポートフォリオの再編 巣ごもり需要を捉え、国内Re事業を軸とした成長戦略へ一旦シフト



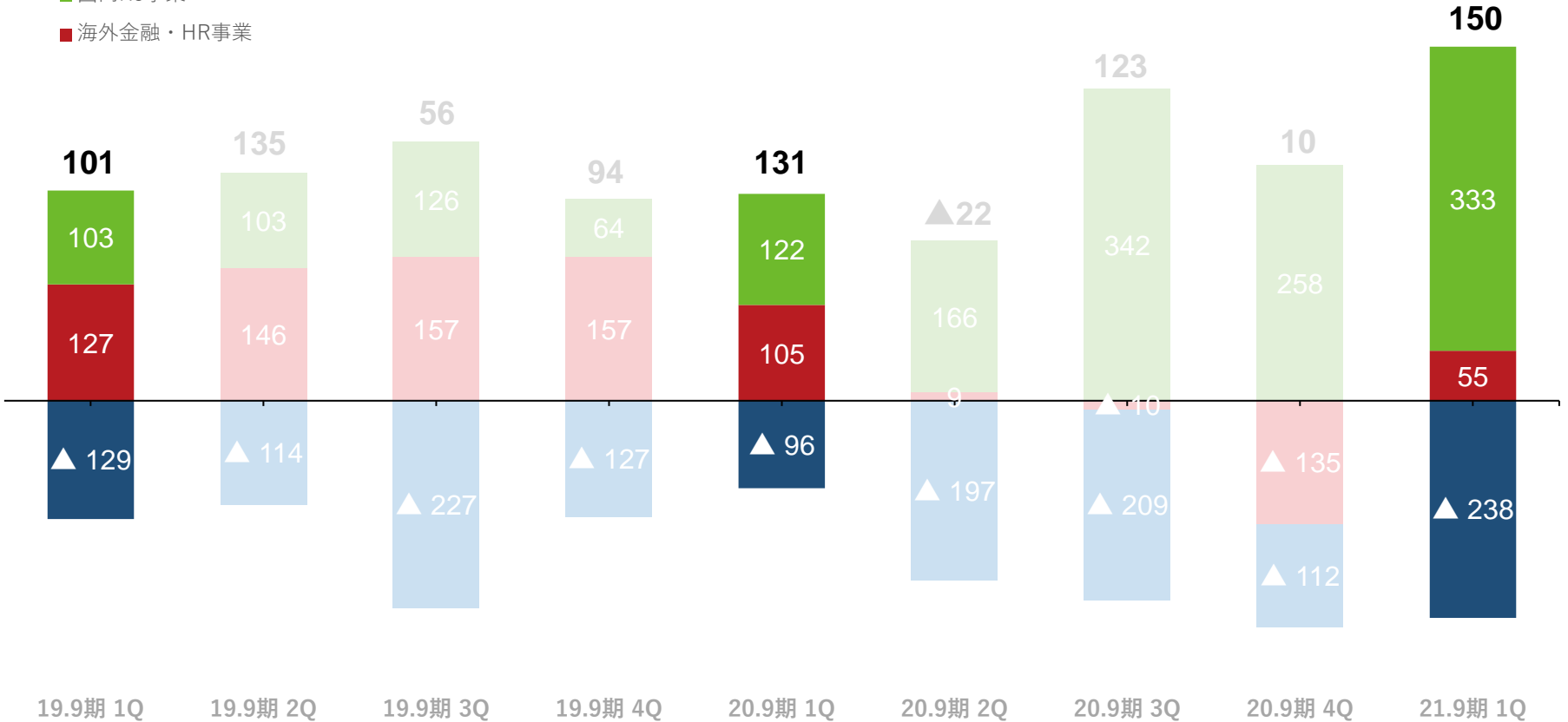
リユース・リサイクルの好調により大きく伸長 売上拡大により利益率も大きく改善



単位 (百万円)

キャッシュ・フローの良い国内でのビジネスが伸長
借入金等の圧縮と為替ヘッジの取組みを引き続き検討

- 共通経費
- 国内Re事業
- 海外金融・HR事業



引き続き高水準での現預金ポジションを維持
 今後は市場動向と適正バランスの双方を勘案し借入金等の圧縮を検討

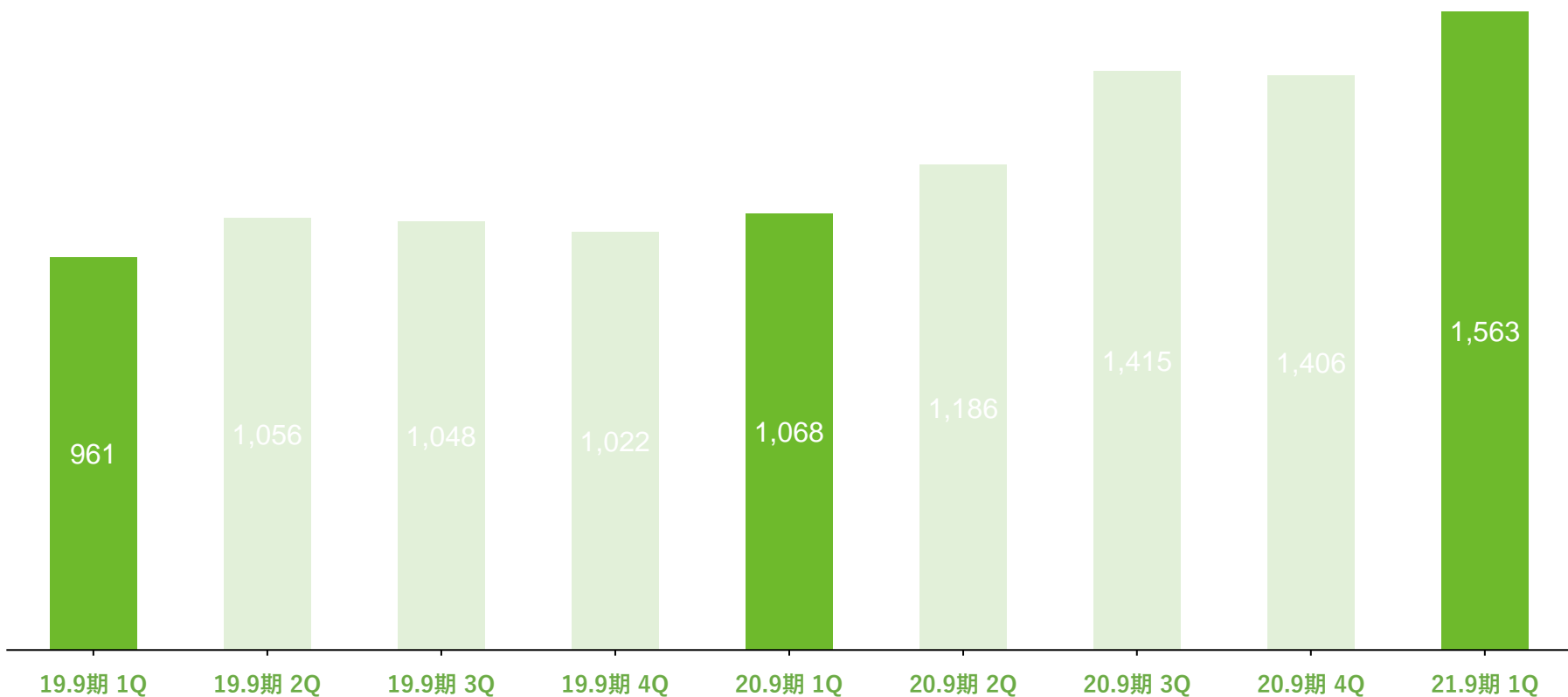
(百万円)	20年9月期	21年9月期 第1四半期	対前期差
流動資産	8,449	8,826	+376
内、現金及び預金	2,897	3,417	+520
内、貸倒引当金	▲ 1,487	▲ 1,356	+131
固定資産	1,032	1,003	▲29
繰延資産	18	18	0
資産合計	9,500	9,847	+347
流動負債	3,767	3,627	▲139
固定負債	4,041	4,634	+592
負債合計	7,809	8,262	+453
純資産合計	1,691	1,585	▲105
負債・純資産合計	9,500	9,847	+347
自己資本比率	15.7%	16.0%	+0.4%

国内Re事業

巣ごもり需要によるライフスタイルの変化により
リユース・リサイクルは好調を維持

売上高：1,563百万円

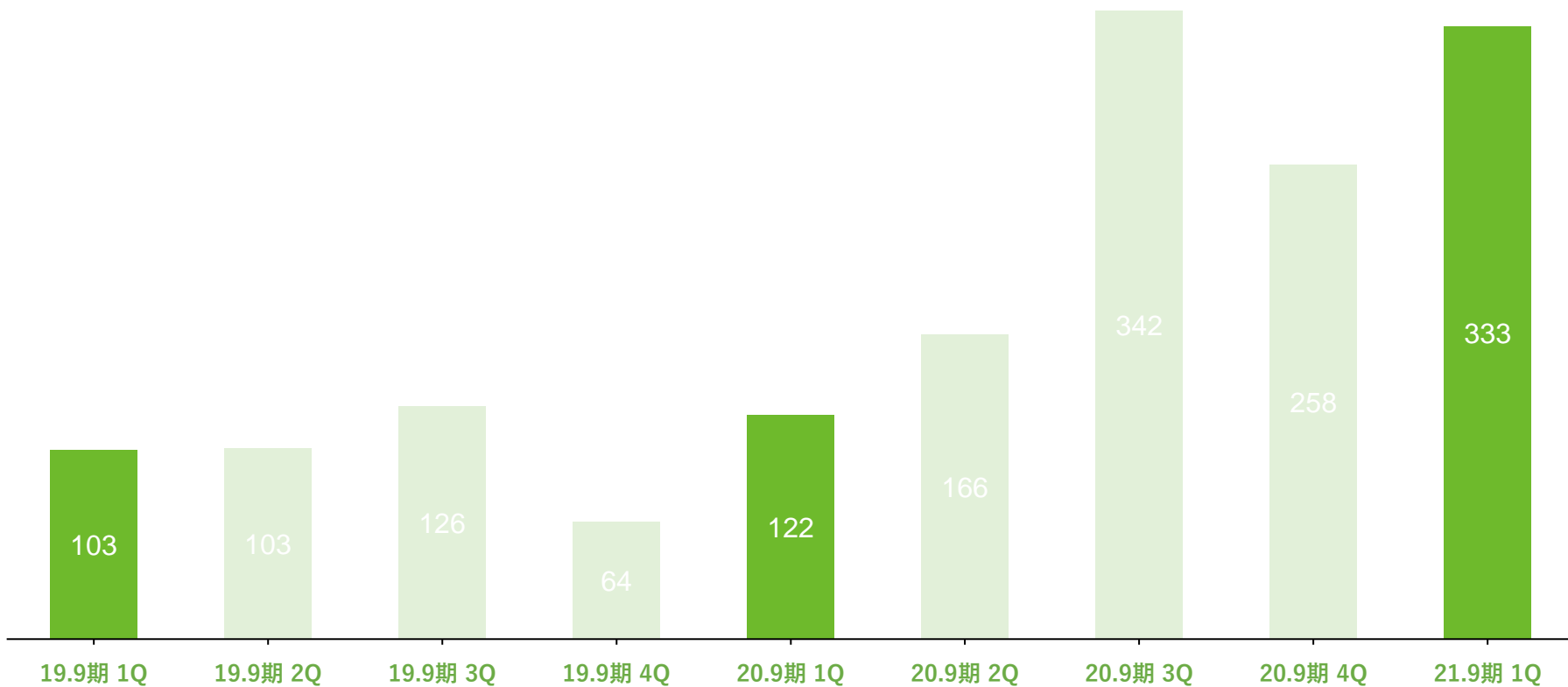
前年同期比：+46.3%



限界利益率の高いリユース・リサイクルビジネスは
売上の伸長により利益も大幅に拡大

経常利益：333百万円

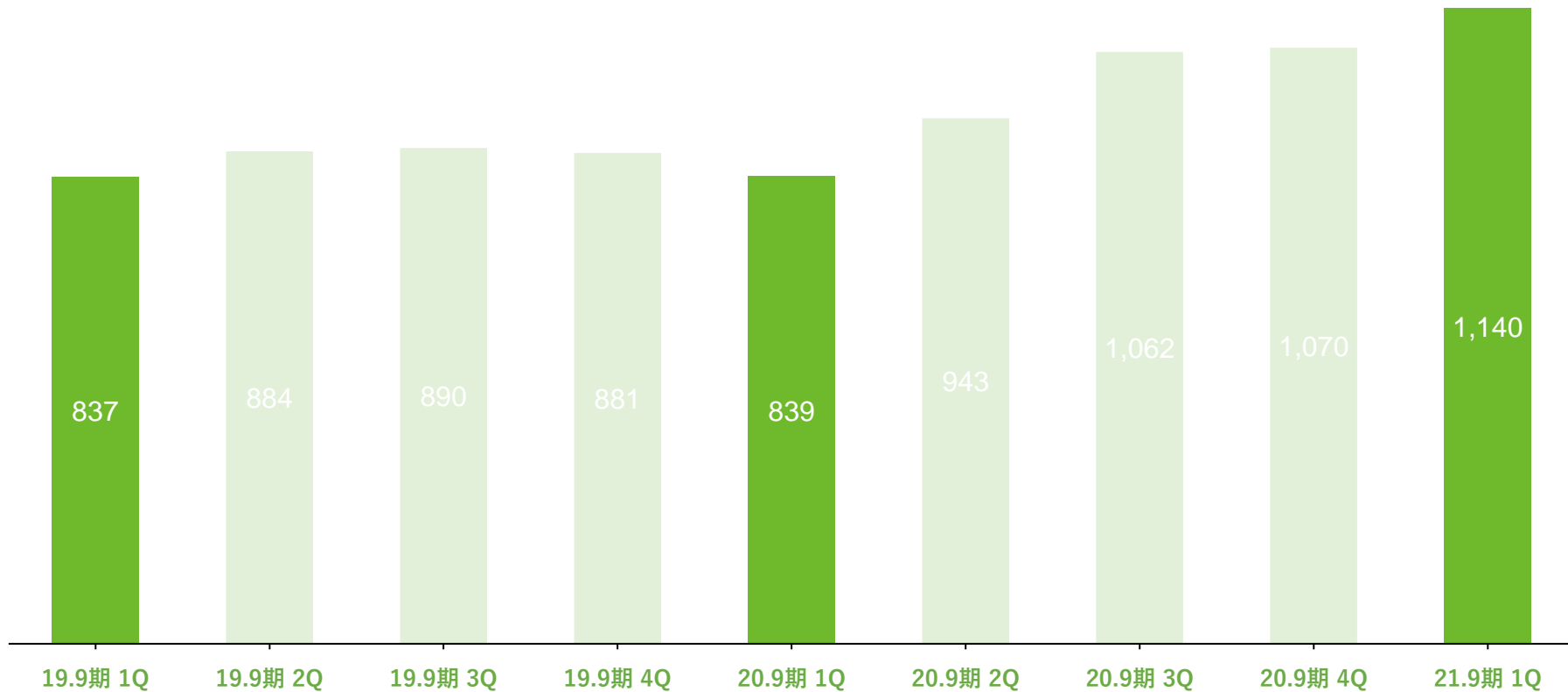
前年同期比：+173.8%



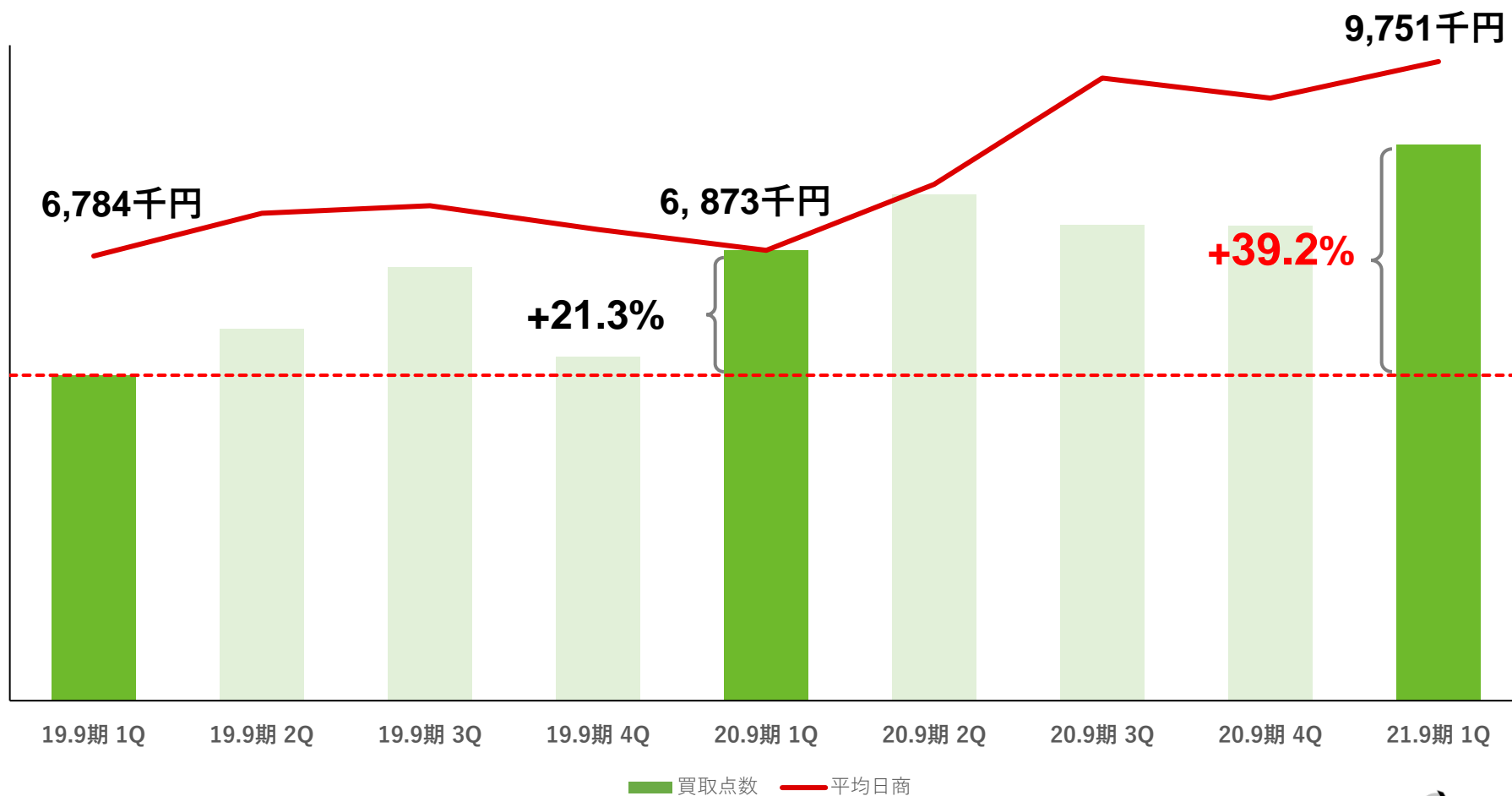
巣ごもりによる需要拡大が続き好調。
又売上の先行指標である買取も着実に増加

売上高：1,140百万円

前期比：+35.9%



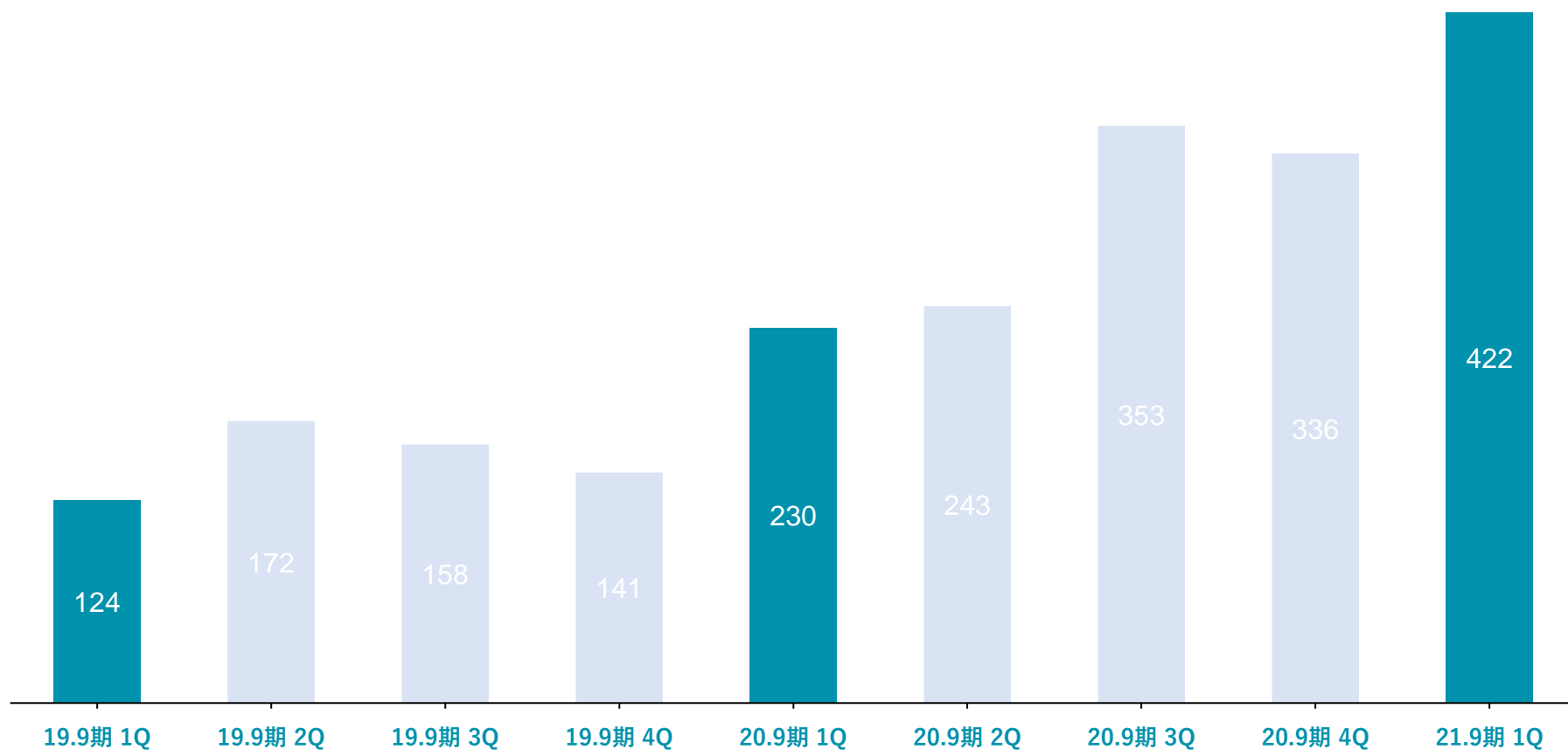
巣ごもり需要の拡大が続く中 買取点数・平均日商が着実に向上



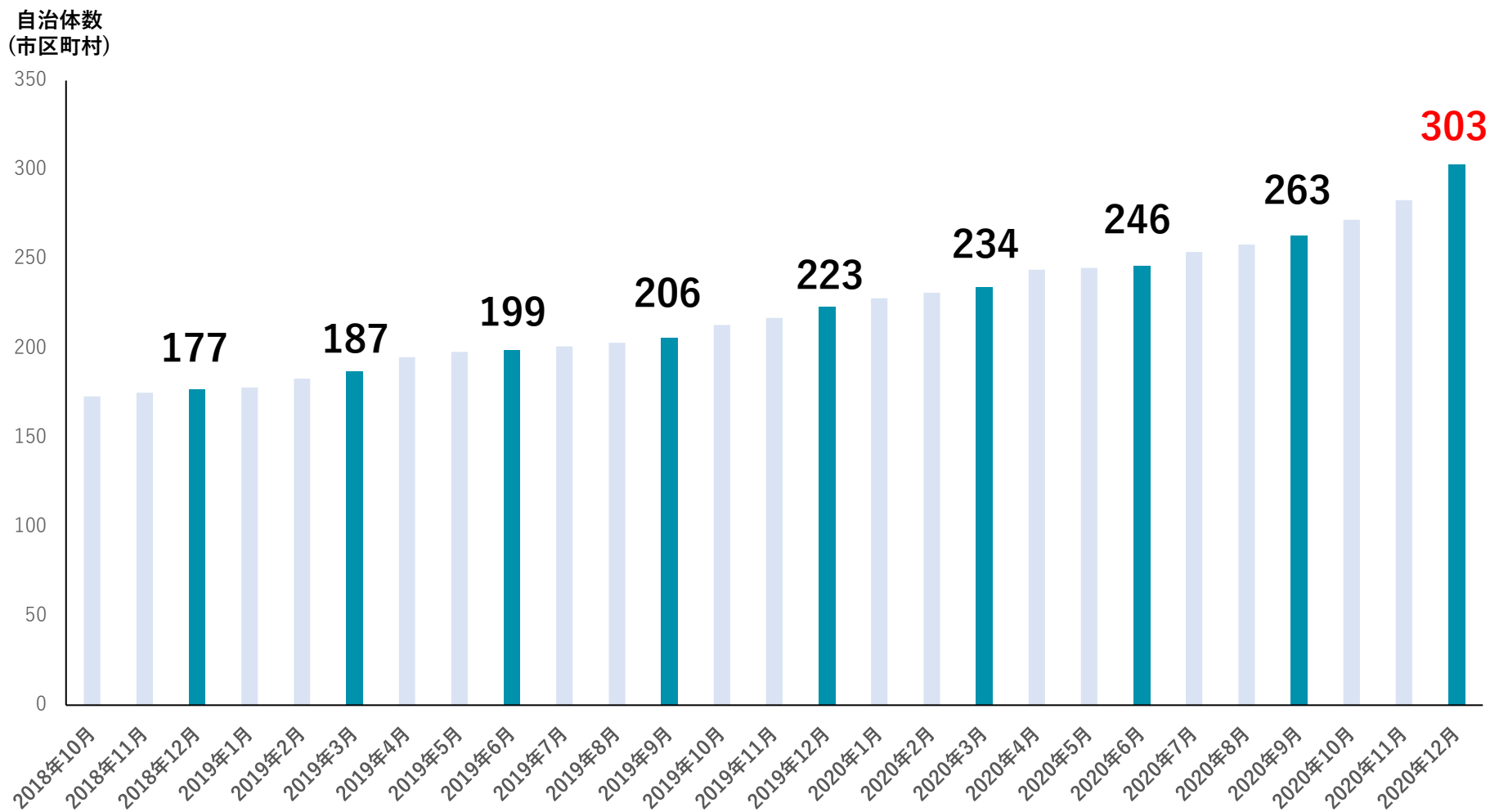
自治体連携数の拡大並びに認知度向上から売上高は順調に伸長

売上高： 422百万円

前年同期比： +84.1%



認知度向上とともに連携自治体数も大幅に増加



行政のごみ回収の一環として、自治体と協定



2014/6/12
愛知県大府市 久野市長



2014/6/25
愛知県小牧市 山下市長



2014/9/24
京都市 足立局長



2015/2/2
さいたま市 清水市長



2015/3/26
浜松市 鈴木市長



2015/5/13
川崎市 福田市長



2015/5/18
三重県桑名市 伊藤市長



2015/7/21
福岡市 高島市長



2015/9/29
東京都稲城市 高橋市長



2015/9/30
新潟市 篠田市長



2016/1/27
相模原市 加山市長



2016/2/23
埼玉県川口市 奥ノ木市長



2016/2/24
仙台市 伊藤副市長



2016/3/18
弘前圏域定住自立圏8市町村



2017/7/28
山口県下関市 前田市長



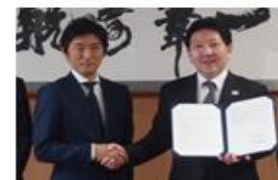
2017/8/30
大阪府茨木市 福岡市長



2018/7/26
大分県大分市 佐藤市長



2018/9/28
沖縄県那覇市 城間市長

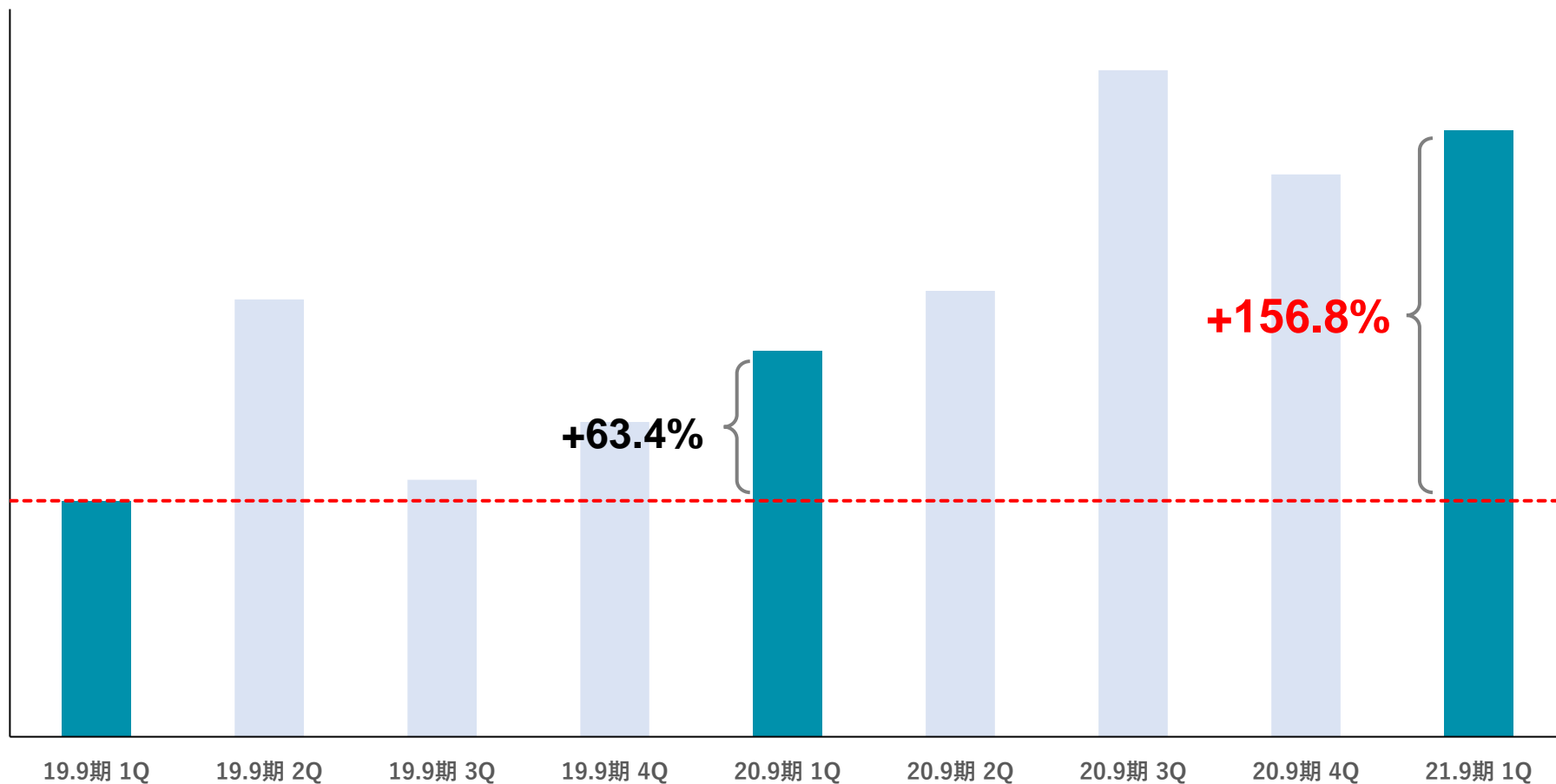


2019/3/26
東京都中野区 酒井区長



2019/8/7
佐賀県小城市 市長

連携自治体数の増加に比例して
申込件数も大幅に増加

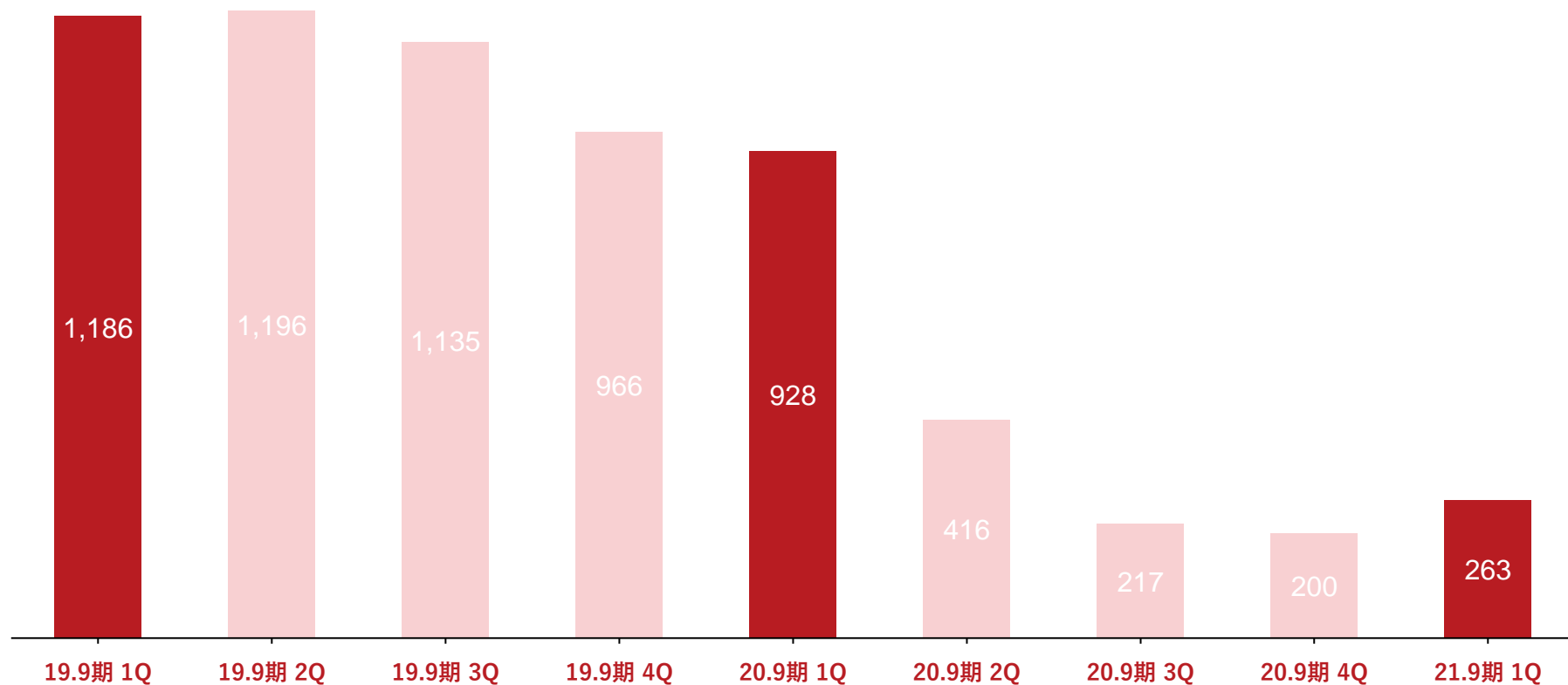


海外金融・HR事業

マイクロファイナンスは好調を維持するも
車両販売とリースの新規営業を凍結中のため売上高は減少

売上高： 263百万円

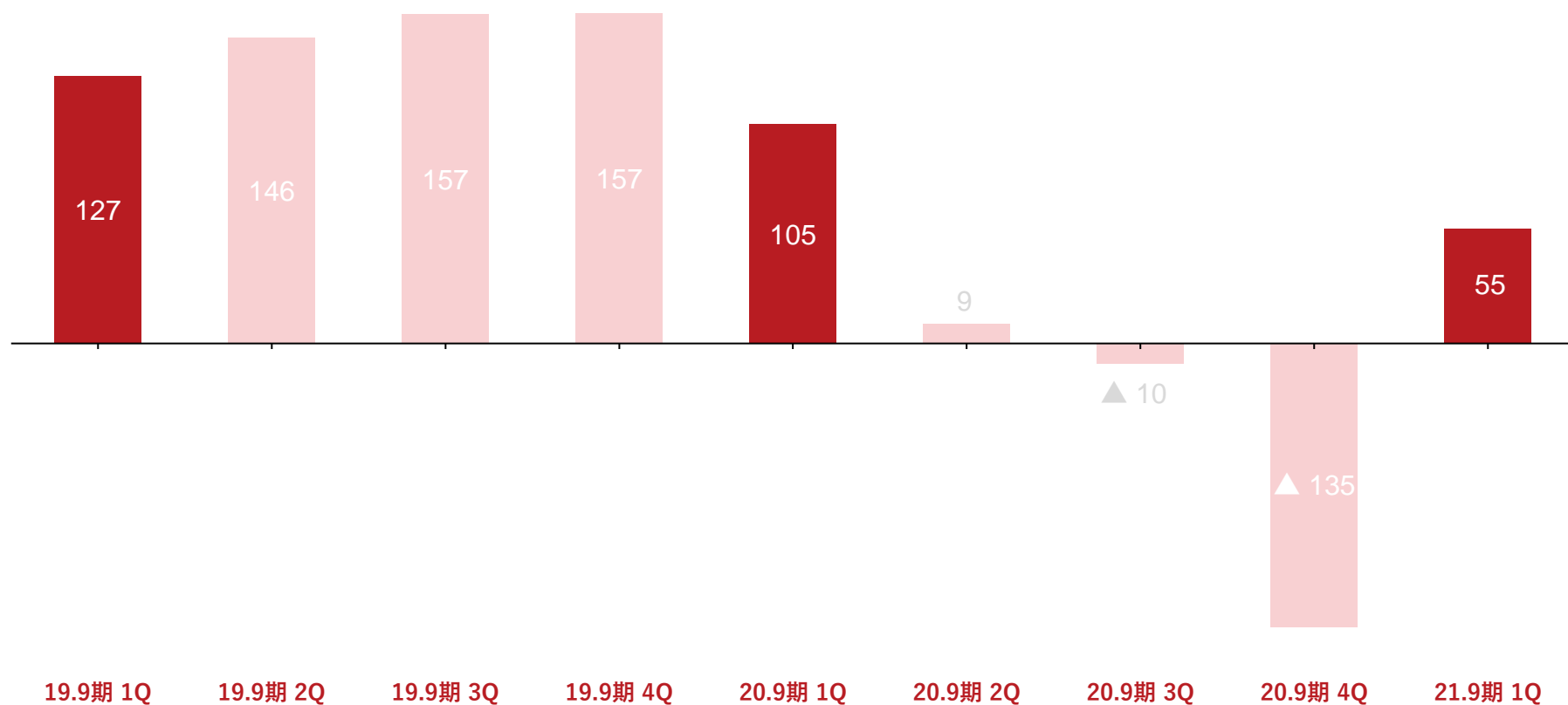
前年同期差： ▲665百万円



マイクロファイナンスの業績は好調に推移
 車両販売とリースの新規営業凍結の影響を受け減益

経常利益：55百万円

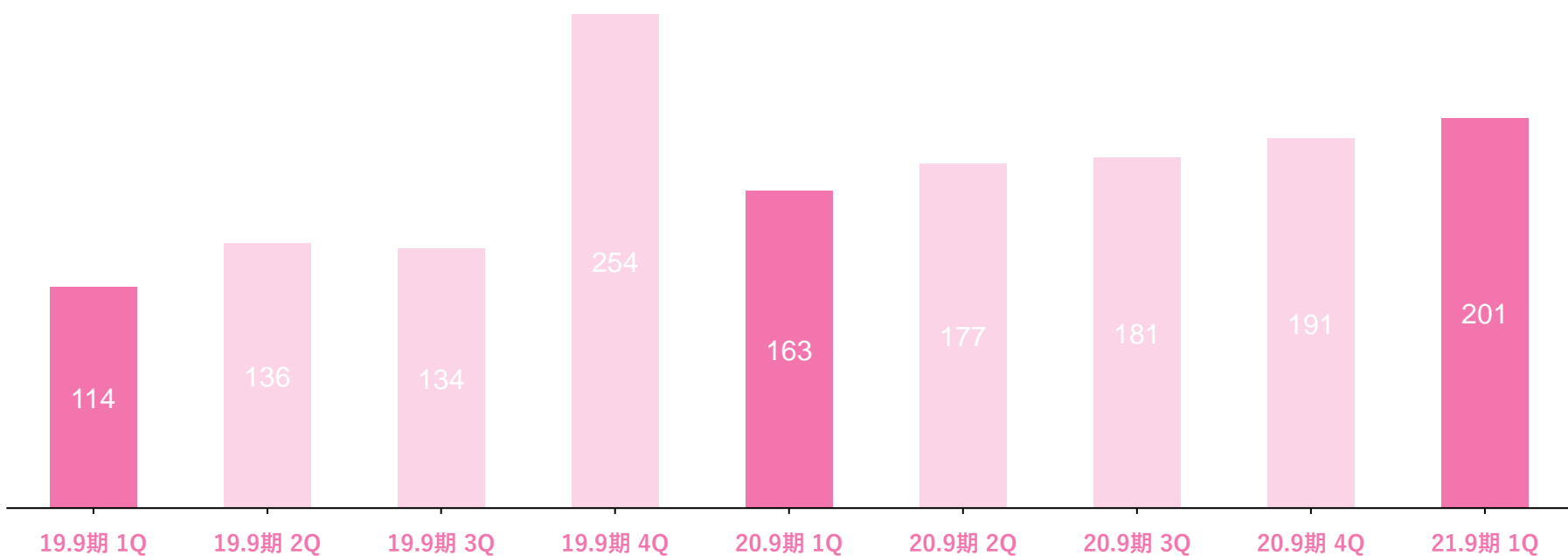
前年同期差：▲50百万円



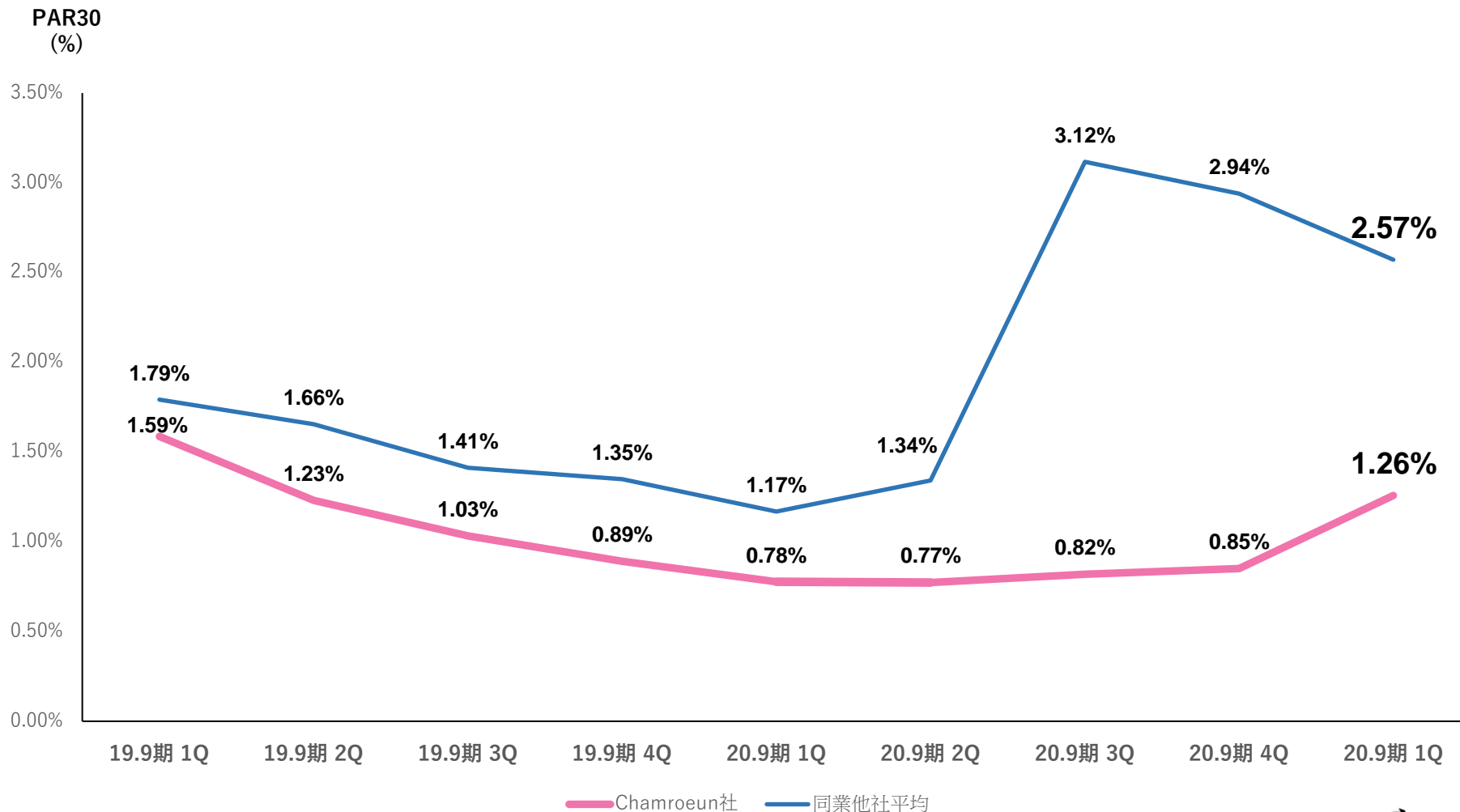
コロナ禍を勘案、保守的な融資方針であるも、堅調に推移し、
売上高は201百万円、経常利益52百万円

売上高：201百万円

前年同期比：+22.7%



コロナ禍を勘案、保守的運営を採用 延滞比率は引き続き低水準を維持



※グラフ出典(同業他社平均)：CMA Network Information Exchangeより当社が独自にグラフを作成

大口顧客を中心に債権回収も順調に進展 車両回収～回収車両販売もオークション形式導入等が寄与



コロナ終息後を見据え、オンラインでの日本語研修体制の構築や国内営業等の取組み

◆ オンラインによる日本語研修



◆ オンラインセミナーによる国内営業

ReNet.jp
human resources



外国人整備士採用で失敗しないために

- ▶ 整備士人材のレベルは現地送り出し機関の研修・運営レベルによるところが大きいです
- ▶ 現地送り出し機関からの直接の説明を聞いたり、現地視察などして、運営レベルをご確認ください。
- ▶ 本日、カンボジア現地にて送り出し機関を運営する当社から、ご説明をさせていただきます。

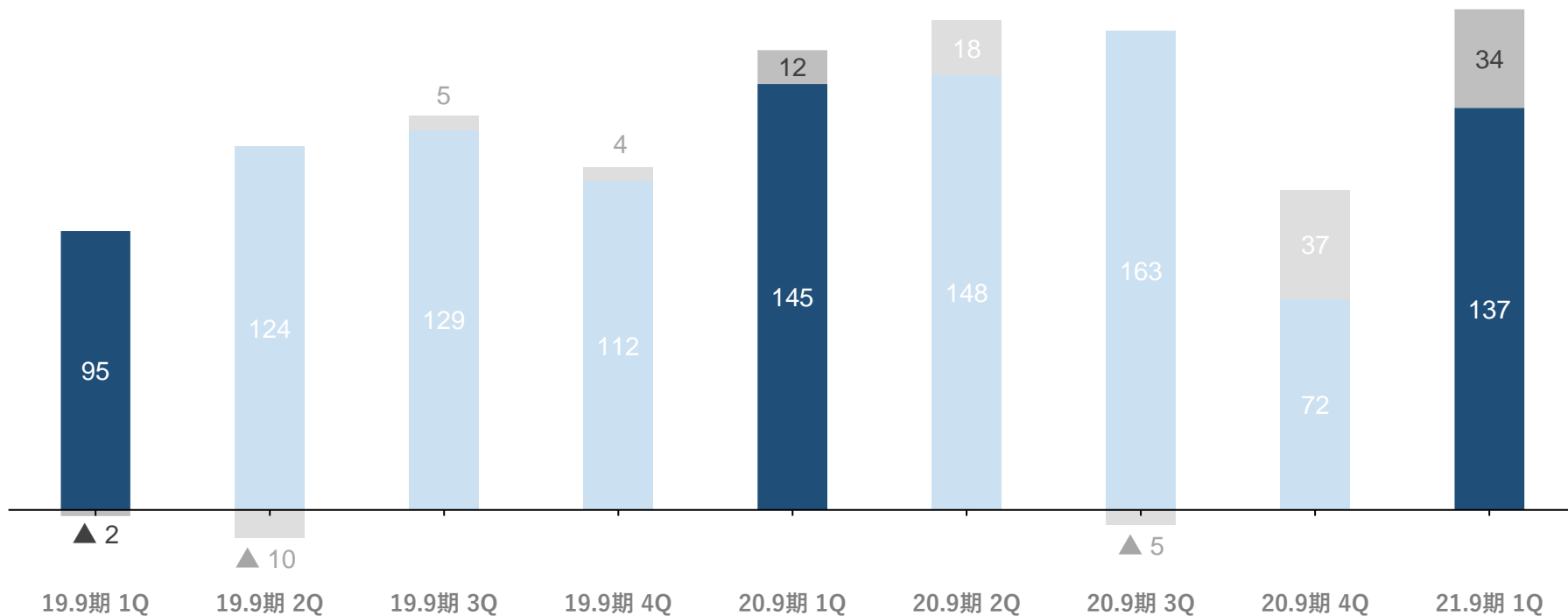
共通経費・為替差損益

販管費は前年同期とほぼ同等で推移
 営業外で一部リファイナンスによるコストを計上

共通経費：170百万円

前年同期差：+14百万円

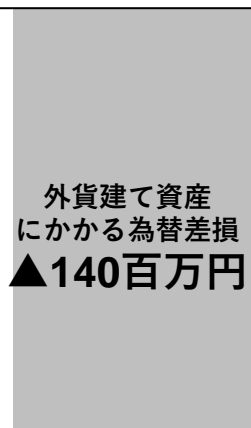
■ 販管費 ■ 営業外損益



米ドル建て資産について為替ヘッジ取引を継続

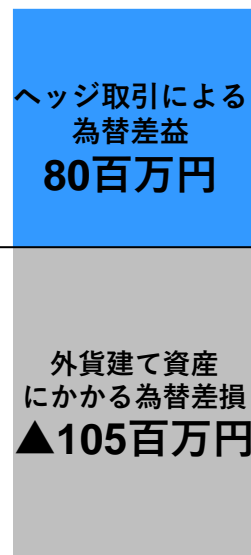
ヘッジ取引未対応

19年9月期



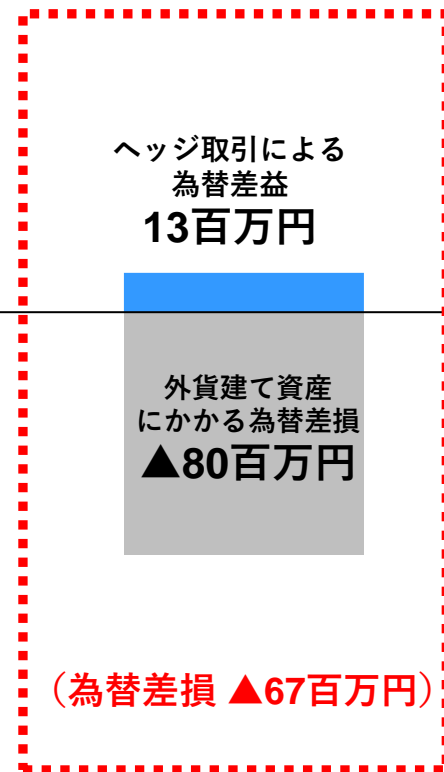
ヘッジ取引開始後

20年9月期



（為替差損 ▲25百万円）

21年9月期
第1Q



（為替差損 ▲67百万円）

経営理念の実現に向けて



ビジネスを通じて“偉大な作品”を創る。

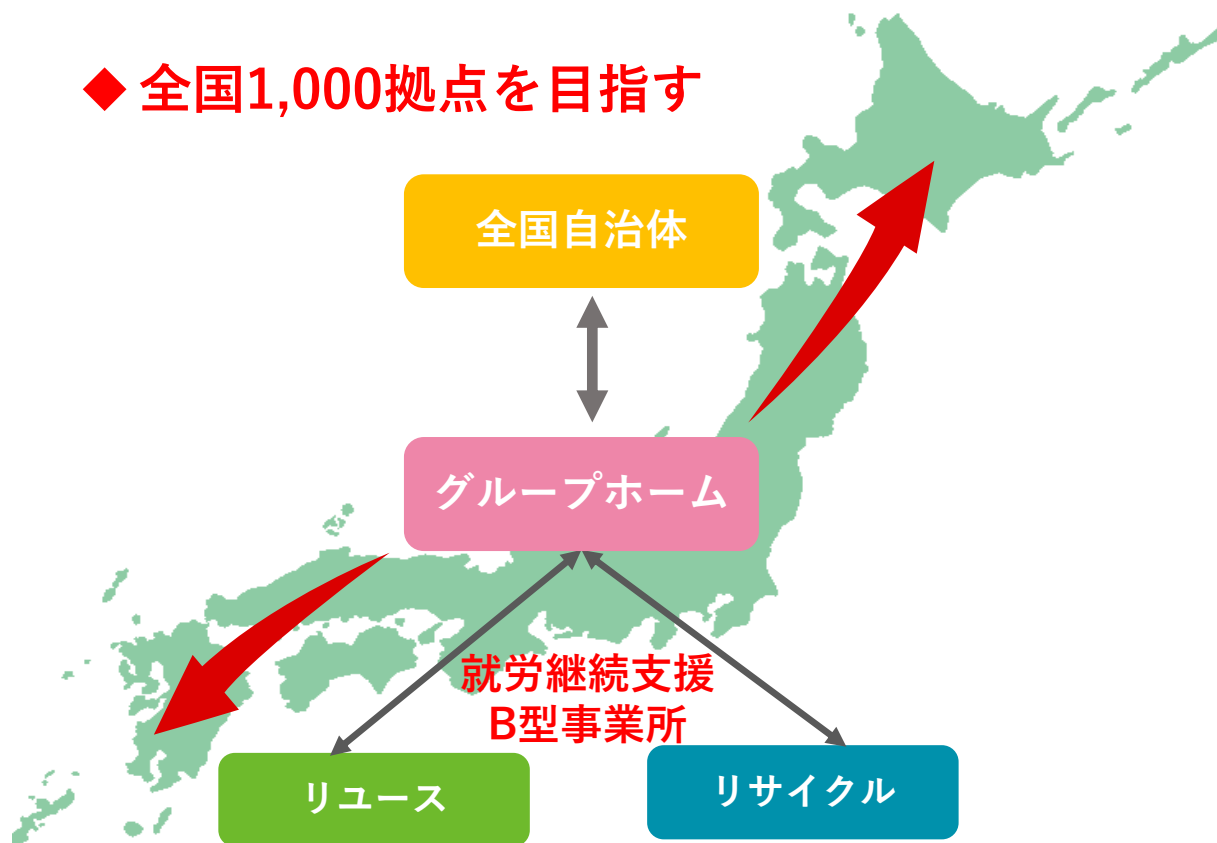
当社の経営理念は「ビジネスを通じて“偉大な作品”を創る」
「**収益**」と「**社会性**」の両立を掲げ、
「本業のビジネスの中に社会課題解決モデルを組み込む」ことで、
「**事業成長が社会への貢献につながるユニークなビジネスモデル**
創りを目指しています。

障がい福祉の領域へ参入し、グループホームを展開する「ソーシャルケアビジネス」を立ち上げ

知的・精神障がいの方向けの「グループホーム（住）」と既存事業（リユース・リサイクル）から業務を切り出す形での「就労継続支援B型事業所（職）」を組み合わせたビジネスモデル

リサイクルビジネスでの全国350以上の自治体との提携も活かした、
障がい者の「住」 + 「職」 + 「行政」連携モデルに取り組んでいきます。

◆ 全国1,000拠点をを目指す



1) 大府市の2拠点でグループホームが始動

スマイルあっとほーむ大府



共和



森岡

2) PC解体作業に知的障がいのある方を積極雇用 ビジネス拡大が障がい者の雇用拡大に繋がるモデル



3) リサイクルビジネスでの全国350以上の 自治体連携を活かす



4) 2020年障害者雇用優良企業表彰式にて 「愛知県知事賞」を受賞



Chamroeun Microfinance Plc.(チャムロン社)は
カンボジアでマイクロファイナンスを展開するフランスのNGOが創業した
「金融包摂」を理念に掲げるソーシャル性の高い金融機関。
当社が2018年に買収。創業からのVISION・MISSIONを継承し
当社の傘下で成長中

VISION

マイクロファイナンスを通じて
経済的弱者である貧困家庭に対し、
より活気に満ちた生活をもたらす永続的な取り組み
を社会的使命とするカンボジアのリーディングプレイヤー

社会的使命として、マイクロファイナンス及び、
さらなる包括的な社会・経済的サービスの提供を通じて
カンボジアの貧困家庭に、
より自信に溢れ、より良い生活・より高い技能をもたらす

MISSION

原文

VISION

“A leading Cambodian social microfinance institution working to achieve positive and lasting changes in the livelihoods of economically active poor families in a socially responsible manner”

MISSION

“To improve the livelihoods, skills, and self-confidence of poor families in Cambodia by providing them a wide range of responsible microfinance and complementary socio-economic services”

チャムロン社は業績堅調且つ社会性が高いビジネスであり、 当社経営理念とも合致



事業特色・強み ソーシャルな 取り組み

- ◆ チャムロン社は単なる金融業ではなく、**貧困層への金融アクセスの提供**を目的とした所謂、「**金融包摂ビジネス**」（フィナンシャルインクルージョン）
- ◆ 当社の主要顧客は金融アクセスに乏しい郊外・農村部の人々が中心
- ◆ 同業他社が都市部で激しく競争している一方で、当社は圧倒的に競争が少ない**郊外・農村部にて展開するのが強み**
- ◆ 貧困層を中心顧客としているため、1件当たりの貸出額は600ドル台と、大手の2,000ドル台と比較すると圧倒的に小口。
- ◆ また水衛生や健康、金融リテラシーについてのレクチャーを各地（村単位）で実施、金融アクセスの提供以外の社会的インパクトを創出



今後の戦略

- ◆ インドのNELITO社と共同で新しいコアバンキングシステムの導入の最終段階にあり、**これにより生産性の劇的な向上が見込まれる**
- ◆ ソラミツ社とのJVを通じた**世界初の中央銀行デジタル通貨である「バコン」**との連携を模索、成長を加速する



2020年2月発表の、カンボジアでのデジタル通貨・パソコンを活用する、
ネット銀行参入に向けたソラミツ社とのJV設立については、
数ヶ月内の設立を目指して継続協議中
JVはカンボジアにおけるパソコンの普及に向けたサービスを提供予定

リネットジャパングループ株式会社 管理本部 IR担当 E-mail : ir@renet.jp

当資料は、リネットジャパングループ株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。